

米沢市ゼロカーボンシティ宣言

～2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化が原因と見られる気候変動の影響により、世界規模で自然災害が頻発・激甚化しています。本市においても、私たちの生命や暮らしが脅かされる事態が身近に迫るなど、現在、まさに気候危機と言うべき状況であり、その対策は不可欠なものとなっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年度までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされ、また、この目標達成に向け、国からは、地方自治体や民間企業、NPO等の主体による取組の重要性が示されました。

米沢市においても、本市が将来の望ましい環境像として掲げる「豊かな自然に抱かれ人と環境にやさしく快適で美しいまち」の実現と、かけがえのない私達の故郷を未来の世代につないでいくため、挑戦と創造の精神で2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、実現に向けて取組を進めることをここに宣言します。



令和2年10月8日

米沢市長

中川 勝